

# 後発医薬品の使用状況に関する調査分析

平成 28 年 8 月  
IT 推進部データ分析推進グループ

本調査は、468 組合の平成 27 年 5 月調剤報酬明細書データ(レセプト件数:332 万 6,095 件、調剤医療費総額:273 億 3,786 万 560 円)をもとに、薬剤料ベース、数量ベース、薬効分類(中分類)別の後発医薬品の使用状況並びに後発医薬品置き換えによる削減効果(粗い試算)についてとりまとめたものである。

平成 27 年 5 月調剤報酬明細書(468 組合)の概要  
レセプト件数、処方せん枚数、調剤医療費総額

レセプト件数	処方せん枚数	調剤医療費 <sup>1</sup>
332 万 6,095 件	405 万 9,756 枚	273 億 3,786 万 560 円

調剤医療費の内訳(技術料、薬剤料、後発医薬品薬剤料)

技術料	薬剤料 <sup>2</sup>	うち、後発医薬品薬剤料
		26 億 6,911 万 3,500 円

薬剤料使用量とその内訳

薬剤料総使用量	後発医薬品のない先発医薬品 を除いた薬剤料使用量	うち、後発医薬品使用量
	4 億 5,105 万 3,368	2 億 1,317 万 6,876

<sup>1</sup> 調剤医療費とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に 10 を乗じたものである。

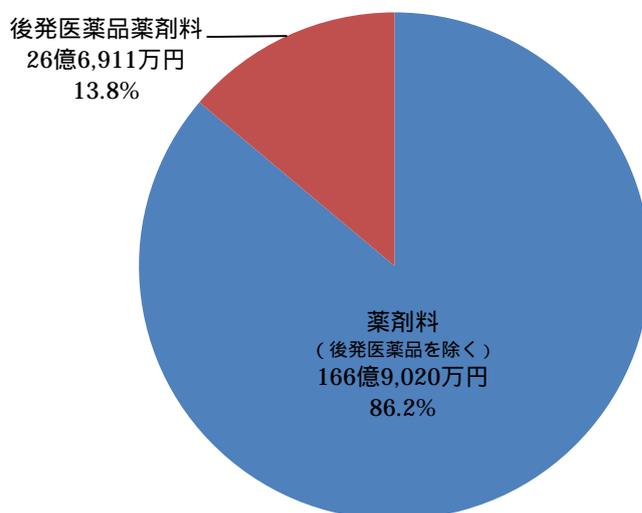
<sup>2</sup> 薬剤料とは、調剤報酬明細書の薬剤料欄に記録された「薬剤点数」に 10 を乗じたものである。

## 1. 薬剤料に占める後発医薬品の割合(薬剤料ベース)

平成 27 年 5 月調剤レセプト(468 組合)の総額:273 億 3,786 万 560 円のうち、薬剤料は 193 億 5,931 万 9,150 円で、うち後発医薬品薬剤料<sup>3</sup>は 26 億 6,911 万 3,500 円となっており、薬剤料に占める後発医薬品の割合(薬剤料ベース)は 13.8%となっている。

調剤医療費( + )	273 億 3,786 万 560 円
技術料	79 億 7,854 万 1,410 円
薬剤料	193 億 5,931 万 9,150 円
うち、後発医薬品薬剤料	26 億 6,911 万 3,500 円
後発医薬品割合	13.8%

### 薬剤料に占める後発医薬品(薬剤料ベース)



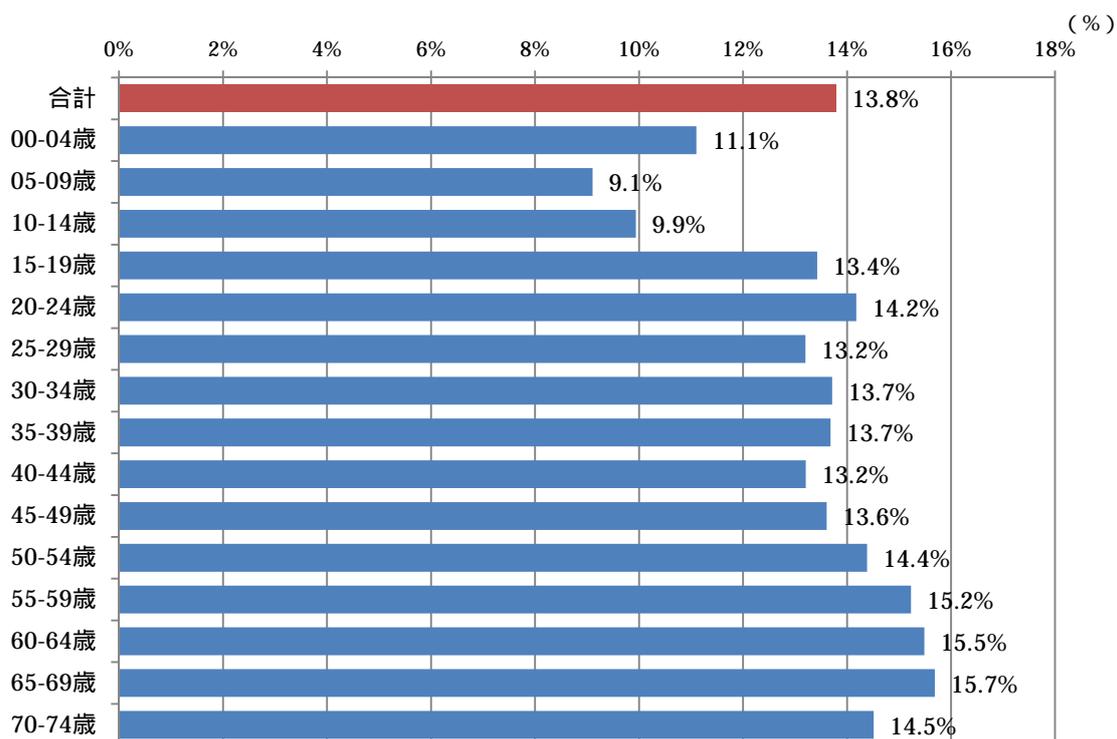
<sup>3</sup> レセプト上には後発医薬品のみ薬剤料は記録されていないため、レセプトに記載された医薬品から個別に算出した薬剤料を用いている。

## 2. 年齢階層別にみた薬剤料に占める後発医薬品の割合(薬剤料ベース)

年齢階層別に薬剤料に占める後発医薬品の割合(薬剤料ベース)をみると、全体:13.8%に対して、最も割合が高い年齢層は65-69歳:15.7%で、逆に最も割合が低い年齢層は05-09歳:9.1%となっている。

	全体	最高	最低
年齢階層(最高・最低)	13.8%	65-69歳	05-09歳
割合		15.7%	9.1%

年齢階層別にみた薬剤料に占める後発医薬品の割合(薬剤料ベース)



### 3. 薬効分類(中分類)<sup>4</sup>別にみた後発医薬品薬剤料

薬効分類(中分類)別に後発医薬品薬剤料をみると、最も高いのは 循環器官用薬：6.15 億円で、次いで アレルギー用薬：3.43 億円、 消化器官用薬：3.27 億円となっている。

薬剤料に占める後発医薬品の割合(薬剤料ベース)では、 ビタミン剤：41.5%が最も高く、次いで 消化器官用薬：27.8%、 抗生物質：22.8%となっている。

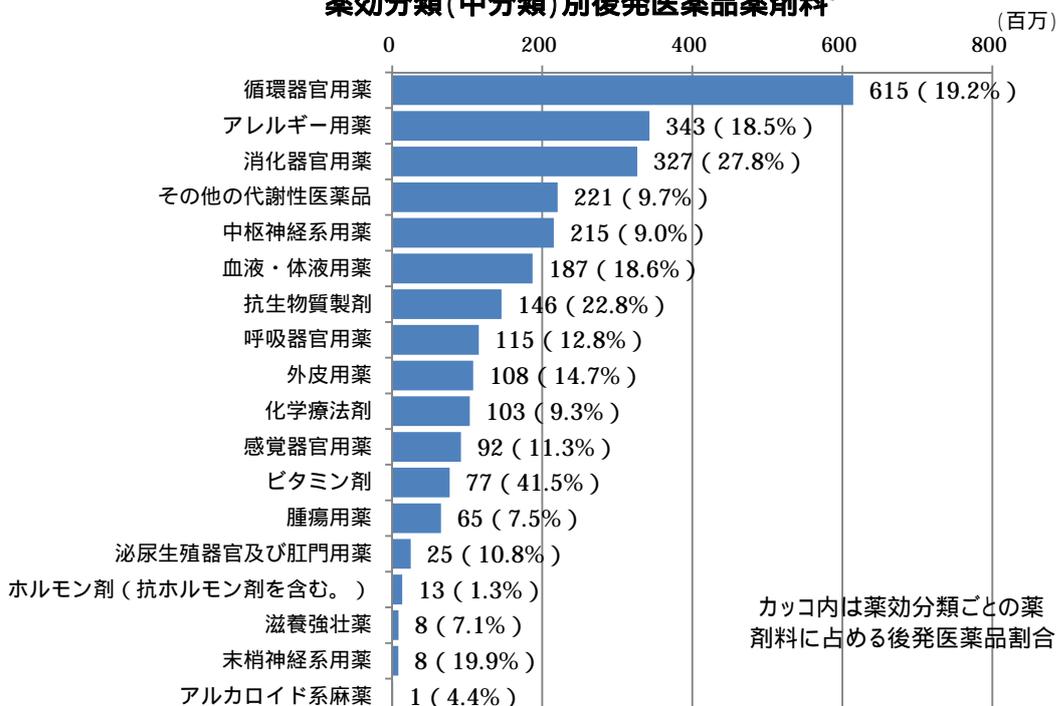
#### 薬効分類別後発医薬品薬剤料

第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
循環器官用薬	アレルギー用薬	消化器官用薬	その他の代謝性医薬品	中枢神経系用薬
6.15 億円	3.43 億円	3.27 億円	2.21 億円	2.15 億円

#### 薬効分類別後発医薬品割合(薬剤料ベース)

第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
ビタミン剤	消化器官用薬	抗生物質	末梢神経系用薬	循環器官用薬
41.5%	27.8%	22.8%	19.9%	19.2%

#### 薬効分類(中分類)別後発医薬品薬剤料<sup>5</sup>



<sup>4</sup> 薬効分類は、日本標準商品分類・中分類 87-医薬品及び関連製品に準拠。

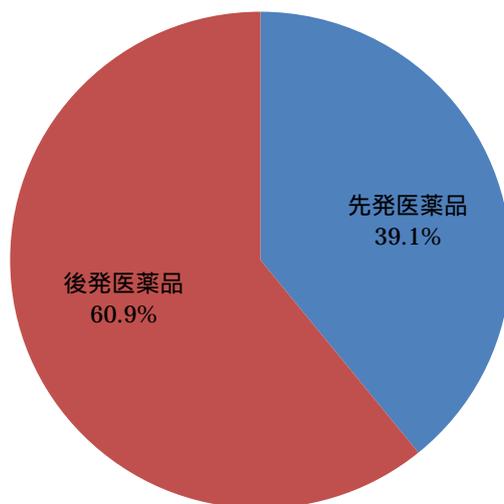
<sup>5</sup> 薬剤料 100 万円未満のものについては薬効分類一覧から除外している。そのため、足し上げても総数と一致しない。

#### 4. 薬剤使用量<sup>6</sup>に占める後発医薬品の割合(数量ベース)<sup>7</sup>

平成27年5月調剤レセプト(468組合)の薬剤使用量(後発医薬品のない先発医薬品を除く)は2億1,317万6,876で、うち後発医薬品は1億2,977万9,767となっており、後発医薬品使用割合(数量ベース)は60.9%となっている。

薬剤使用量 (後発医薬品のない先発医薬品を除く)	2億1,317万6,876
うち、後発医薬品使用量	1億2,977万9,767
後発医薬品使用割合	60.9%

薬剤使用量に占める後発医薬品の割合(数量ベース)



<sup>6</sup> ここでいう薬剤使用量とは、後発医薬品のない先発医薬品を除いたものである。

<sup>7</sup> 後発医薬品使用割合(数量ベース)は、〔後発医薬品の数量〕 / (〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕 + 〔後発医薬品の数量〕) により算出している。

## 5. 年齢階層別に見た後発医薬品使用割合(数量ベース)

年齢階層別の後発医薬品使用割合をみると、全体：60.9%に対して、最も高いのは60-64歳：64.6%で、逆に最も低いのは05-09歳：47.0%となっている。

	全体	最高	最低
年齢階層(最高・最低)	60.9%	60-64歳	05-09歳
割合		64.6%	47.0%

年齢階層別後発医薬品の使用割合(数量ベース)



## 6. 薬効分類(中分類)別にみた後発医薬品使用割合(数量ベース)

薬効分類(中分類)別に後発医薬品使用割合(数量ベース)をみると、最も高い割合を示しているのは ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む):98.1%で、次いで、 ビタミン剤:95.4%、 血液・体液用薬:91.0%となっている。

逆に低い割合を示しているのは、 外皮用薬:37.0%、 抗生物質製剤:39.9%、 感覚器官用薬:44.5%となっている。

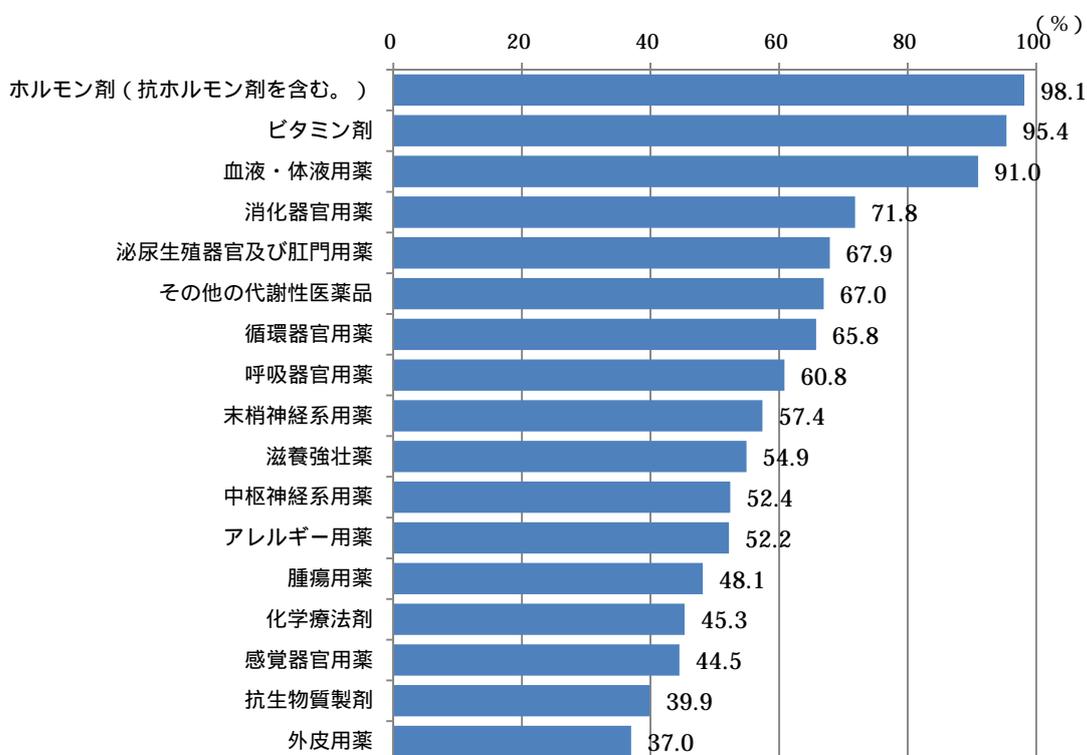
### 上位 5 位

第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
ホルモン剤 (抗ホルモン剤を含む)	ビタミン剤	血液・体液用薬	消化器官用薬	泌尿生殖器官 及び肛門用薬
98.1%	95.4%	91.0%	71.8%	67.9%

### 下位 5 位

第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
外皮用薬	抗生物質製剤	感覚器官用薬	化学療法剤	腫瘍用薬
37.0%	39.9%	44.5%	45.3%	48.1%

薬効分類(中分類)別後発医薬品使用割合(数量ベース)<sup>8</sup>



<sup>8</sup> 後発医薬品がないもの、数量 10 万未満のものについては薬効分類一覧から除外している。

## 7. 後発医薬品切り替えによる削減効果(粗い試算)<sup>9</sup>

468 組合の 27 年 5 月調剤医療費総額: 273 億 3,786 万のうち、薬剤料<sup>10</sup>は 193 億 1,083 万円で、仮に後発医薬品に置換可能な先発医薬品を、全て最低価格の後発医薬品に置き換えた場合、削減効果は 24 億 7,909 万円となり、薬剤料における削減率は 12.8%(調剤医療費全体における削減率は 9.1%<sup>11</sup>)となっている。

< 置換前 >

薬剤料総額: 193 億 1,083 万円



< 置換後 >

薬剤料総額: 168 億 3,173 万円



<sup>9</sup> あくまでも後発医薬品に置換可能な先発医薬品を、全て最低価格の後発医薬品に置き換えた場合の仮定に基づく粗い試算であり、実態を必ずしも正確に反映したものではない。

<sup>10</sup> ここでいう「薬剤料」は、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。先発医薬品及び後発医薬品の薬剤料を算出するにあたっては、同一の処方せんに記録された薬剤を先発医薬品と後発医薬品に分けて計算する必要があり、端数処理のタイミングが異なるため、調剤報酬明細書の薬剤料欄に記録された「薬剤点数」に 10 を乗じた「薬剤料」と一致しない。

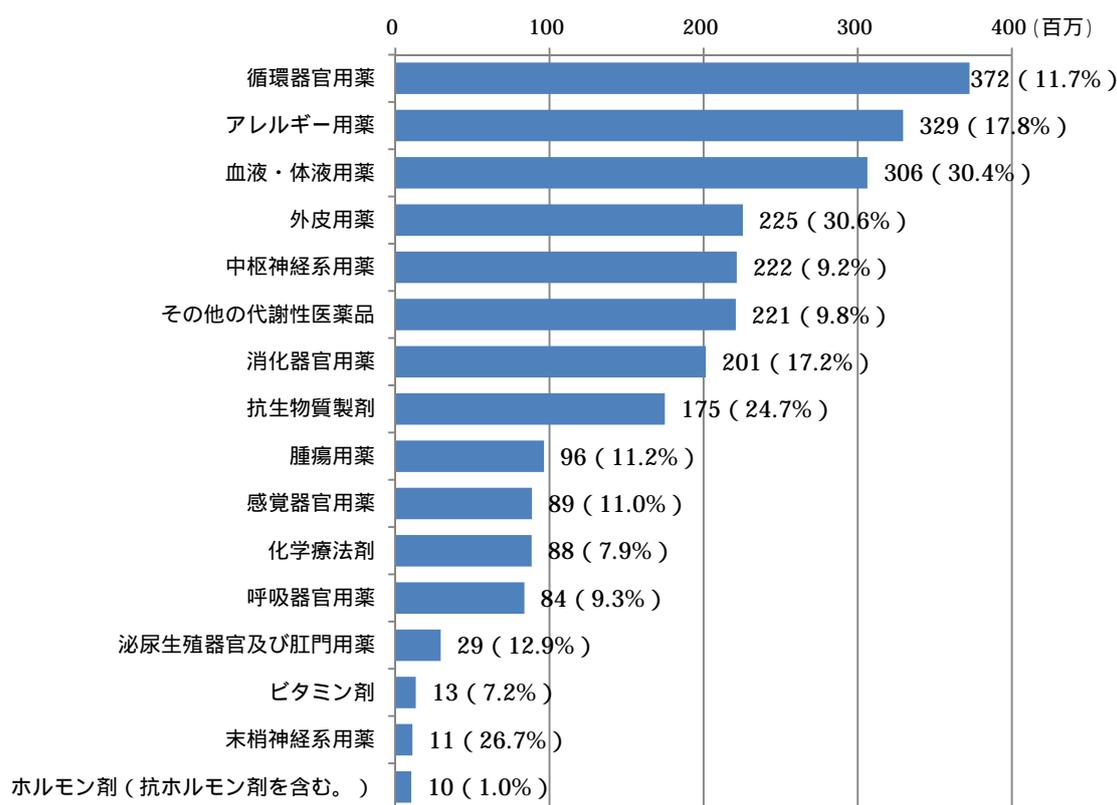
<sup>11</sup> 上記の粗い試算をもとに、全健保組合(27年5月診療時点: 1,403 組合)の5月調剤医療費における削減効果を単純計算した場合、5月調剤医療費 679 億 7,406 万円の 9.1%にあたる、約 62 億が削減効果額となる。(なお、全健保組合の27年5月調剤医療費は社会保険診療報酬支払基金の診療報酬明細書データによる。)

## 8. 薬効分類(中分類)別にみた後発医薬品切り替えによる削減額(削減率)<sup>12</sup>

薬効分類(中分類)別に後発医薬品への切り替えによる削減額をみると、最も高いのは循環器官用薬:3.72 億(11.7%)で、次いで、アレルギー用薬:3.29 億(17.8%)、血液・体液用薬:3.06 億円(30.4%)となっている(カッコ内は薬効分類ごとの削減率)。

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
循環器官用薬	アレルギー用薬	血液・体液用薬	外皮用薬	中枢神経系用薬
3.72 億円	3.29 億円	3.06 億円	2.25 億円	2.22 億円
(11.7%)	(17.8%)	(30.4%)	(30.6%)	(9.2%)

### 薬効分類(中分類)別削減額(削減率)<sup>13</sup>



カッコ内は薬効分類ごとの削減率

<sup>12</sup> あくまでも後発医薬品に置換可能な先発医薬品を、全て最低価格の後発医薬品に置き換えた場合の仮定に基づく粗い試算であり、実態を必ずしも正確に反映したものではない。

<sup>13</sup> 薬剤料1,000万円未満のものについては薬効分類一覧から除外している。そのため、足し上げても総数と一致しない。

[ 資料編 ]

基礎数値（468 組合）

年齢階層別 「レセプト件数」、「処方せん枚数」、「調剤医療費」

年齢階層	レセプト件数	処方せん枚数	調剤医療費(円)
合計	3,326,095	4,059,756	27,337,860,560
00-04 歳	390,159	567,268	1,849,884,570
05-09 歳	267,646	336,247	1,552,071,390
10-14 歳	186,255	218,097	1,181,481,080
15-19 歳	121,965	140,794	763,366,460
20-24 歳	119,865	139,262	799,006,440
25-29 歳	154,646	182,146	1,058,459,710
30-34 歳	192,222	229,018	1,369,310,740
35-39 歳	232,541	278,080	1,792,259,320
40-44 歳	284,273	339,494	2,479,983,900
45-49 歳	290,772	345,645	2,764,353,190
50-54 歳	303,233	360,067	3,042,774,620
55-59 歳	291,681	343,986	3,097,555,740
60-64 歳	248,632	292,031	2,724,510,400
65-69 歳	149,802	176,129	1,694,899,330
70-74 歳	92,403	111,492	1,167,943,670

年齢階層別「技術料」、「薬剤料」、「薬剤延べ種類」、「調剤数量」

年齢階層	技術料	薬剤料	薬剤延べ種類数	調剤数量
合計	7,978,541,410	19,359,319,150	12,506,841	167,590,823
00-04 歳	1,078,314,790	771,569,780	1,932,547	9,393,749
05-09 歳	619,997,010	932,074,380	989,413	6,458,049
10-14 歳	381,000,850	800,480,230	591,954	4,484,449
15-19 歳	251,489,990	511,876,470	419,166	3,480,775
20-24 歳	257,085,930	541,920,510	434,070	3,887,022
25-29 歳	339,153,900	719,305,810	558,711	5,334,317
30-34 歳	426,588,310	942,722,430	697,727	6,973,658
35-39 歳	529,531,550	1,262,727,770	848,301	9,757,993
40-44 歳	669,212,650	1,810,771,250	1,030,868	14,583,525
45-49 歳	703,772,190	2,060,581,000	1,042,227	17,702,852
50-54 歳	748,529,840	2,294,244,780	1,090,347	21,102,436
55-59 歳	727,458,000	2,370,097,740	1,054,957	22,575,385
60-64 歳	619,636,310	2,104,874,090	894,712	20,257,980
65-69 歳	377,957,230	1,316,942,100	546,929	12,853,507
70-74 歳	248,812,860	919,130,810	374,912	8,745,126

年齢階層別 「薬剤料」、「後発医薬品薬剤料」、「後発医薬品割合」(薬剤料ベース)

年齢階層	薬剤料	うち、後発医薬品薬剤料	割合(%)
合計	19,359,319,150	2,669,113,500	13.8
00-04 歳	771,569,780	85,669,840	11.1
05-09 歳	932,074,380	84,888,900	9.1
10-14 歳	800,480,230	79,552,670	9.9
15-19 歳	511,876,470	68,721,910	13.4
20-24 歳	541,920,510	76,831,520	14.2
25-29 歳	719,305,810	94,945,630	13.2
30-34 歳	942,722,430	129,292,230	13.7
35-39 歳	1,262,727,770	172,782,290	13.7
40-44 歳	1,810,771,250	239,125,490	13.2
45-49 歳	2,060,581,000	280,382,580	13.6
50-54 歳	2,294,244,780	330,061,820	14.4
55-59 歳	2,370,097,740	360,921,020	15.2
60-64 歳	2,104,874,090	325,955,600	15.5
65-69 歳	1,316,942,100	206,590,320	15.7
70-74 歳	919,130,810	133,391,680	14.5

年齢階層別「薬剤使用量」、「後発医薬品使用量」、「後発医薬品使用割合」(数量ベース)

年齢階層	薬剤総使用量	後発医薬品のない先発医薬品 を除いた薬剤使用量	うち、後発医薬品使用量	使用割合(%)
合計	451,053,368	213,176,876	129,779,767	60.9
00-04 歳	31,228,327	13,623,976	7,193,018	52.8
05-09 歳	21,731,790	9,491,263	4,455,841	47.0
10-14 歳	18,268,009	7,903,778	4,029,052	51.0
15-19 歳	16,216,786	6,280,123	3,675,138	58.5
20-24 歳	16,475,323	6,503,991	3,939,840	60.6
25-29 歳	19,929,575	8,622,122	5,367,093	62.3
30-34 歳	24,085,665	10,987,596	6,862,806	62.5
35-39 歳	30,357,804	14,368,326	8,914,270	62.0
40-44 歳	41,348,811	19,366,899	11,892,315	61.4
45-49 歳	44,485,746	21,477,058	13,294,099	61.9
50-54 歳	49,456,919	24,058,790	15,160,979	63.0
55-59 歳	48,415,479	24,701,002	15,892,740	64.3
60-64 歳	42,280,024	21,840,163	14,117,098	64.6
65-69 歳	27,153,270	13,905,336	8,876,839	63.8
70-74 歳	19,619,841	10,046,452	6,108,638	60.8

薬効分類（中分類）別「薬剤料」及び「後発医薬品薬剤料」

薬効分類(中項目)	薬剤料	うち、後発医薬品薬剤料	割合(%)
合計	19,310,830,130	2,669,113,500	13.8
11:中枢神経系用薬	2,403,879,140	215,434,730	9.0
12:末梢神経系用薬	41,546,700	8,271,800	19.9
13:感覚器官用薬	809,166,320	91,675,190	11.3
21:循環器官用薬	3,196,716,510	614,529,140	19.2
22:呼吸器官用薬	899,376,000	115,351,340	12.8
23:消化器官用薬	1,174,376,670	326,590,660	27.8
24:ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む。)	990,689,450	13,341,150	1.3
25:泌尿生殖器官及び肛門用薬	227,861,210	24,636,520	10.8
26:外皮用薬	736,394,890	107,970,810	14.7
27:歯科口腔用薬	895,490	400	0.0
29:その他の個々の器官系用医薬品	3,053,760	47,320	1.5
31:ビタミン剤	184,551,790	76,544,060	41.5
32:滋養強壮薬	116,482,570	8,324,630	7.1
33:血液・体液用薬	1,006,196,160	186,943,070	18.6
34:人工透析用薬	13,803,290	237,240	1.7
39:その他の代謝性医薬品	2,264,186,450	220,520,380	9.7
41:細胞賦活用薬	56,070	0	0.0
42:腫瘍用薬	864,097,160	64,988,300	7.5
44:アレルギー用薬	1,852,952,270	342,919,480	18.5
51:生薬	12,263,440	0	0.0
52:漢方製剤	478,897,370	0	0.0
59:その他の生薬及び漢方処方にに基づく医薬品	19,788,080	0	0.0
61:抗生物質製剤	637,626,790	145,583,890	22.8
62:化学療法剤	1,112,963,640	103,397,340	9.3
63:生物学的製剤	173,369,940	0	0.0
64:寄生動物用薬	1,673,560	35,850	2.1
71:調剤用薬	7,813,480	2,930	0.0
72:診断用薬(対外診断用医薬品を除く。)	470,600	10,930	2.3
73:公衆衛生用薬	230	0	0.0
74:体外診断用医薬品	0	0	0.0
79:その他の治療を主目的としない医薬品	34,412,550	41,830	0.1
81:アルカロイド系麻薬	27,517,140	1,205,350	4.4
82:非アルカロイド系麻薬	17,751,410	509,160	2.9

「薬剤料」は調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料であり、調剤報酬明細書の薬剤欄に記録された「調剤点数」に10を乗じた薬剤料とは一致しない。

薬効分類（中分類）別「後発医薬品使用量」及び「後発医薬品使用割合」

薬効分類(中分類)	薬剤使用量 (後発医薬品のない先発 医薬品を除く)	後発医薬品使用量	後発品使用割合 (%)
合計	213,176,873	129,779,769	60.9
11:中枢神経系用薬	33,750,134	17,687,912	52.4
12:末梢神経系用薬	2,191,163	1,257,915	57.4
13:感覚器官用薬	2,954,491	1,314,899	44.5
21:循環器官用薬	26,759,479	17,597,802	65.8
22:呼吸器官用薬	20,635,624	12,554,417	60.8
23:消化器官用薬	35,776,036	25,690,886	71.8
24:ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む。)	725,208	711,688	98.1
25:泌尿生殖器官及び肛門用薬	1,160,407	787,918	67.9
26:外皮用薬	24,205,445	8,955,487	37.0
27:歯科口腔用薬	1	1	100.0
29:その他の個々の器官系用医薬品	8,381	8,381	100.0
31:ビタミン剤	7,312,889	6,974,053	95.4
32:滋養強壮薬	1,184,816	650,868	54.9
33:血液・体液用薬	13,852,882	12,602,411	91.0
34:人工透析用薬	4,787	108	2.3
39:その他の代謝性医薬品	13,199,246	8,836,930	67.0
41:細胞賦活用薬	0	0	0.0
42:腫瘍用薬	628,636	302,558	48.1
44:アレルギー用薬	18,563,966	9,689,246	52.2
51:生薬	0	0	0.0
52:漢方製剤	0	0	0.0
59:その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品	0	0	0.0
61:抗生物質製剤	8,758,588	3,494,772	39.9
62:化学療法剤	1,444,061	654,256	45.3
63:生物学的製剤	0	0	0.0
64:寄生動物用薬	1,321	1,321	100.0
71:調剤用薬	762	762	100.0
72:診断用薬(対外診断用医薬品を除く。)	6	6	100.0
73:公衆衛生用薬	0	0	0.0
74:体外診断用医薬品	0	0	0.0
79:その他の治療を主目的としない医薬品	206	55	26.7
81:アルカロイド系麻薬	56,880	4,883	8.6
82:非アルカロイド系麻薬	1,458	234	16.0

「使用量」は調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量から、個別の薬剤ごとに算出した使用量である。

薬効分類（中分類）別「薬剤料」の内訳及び「後発医薬品置換額」（粗い試算）

薬効分類(中項目)	先発医薬品 (置換不可)	後発医薬品	先発医薬品 (置換可能)	後発医薬品置換額 (粗い試算)
合計	11,954,901,990	2,669,113,500	4,686,814,700	2,207,723,500
11:中枢神経系用薬	1,754,109,140	215,434,730	434,335,280	212,804,330
12:末梢神経系用薬	14,720,560	8,271,800	18,554,330	7,449,130
13:感覚器官用薬	533,539,160	91,675,190	183,951,980	95,342,240
21:循環器官用薬	1,932,606,450	614,529,140	649,580,920	277,101,630
22:呼吸器官用薬	615,420,070	115,351,340	168,604,600	84,920,900
23:消化器官用薬	445,315,280	326,590,660	402,470,730	201,022,940
24:ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む。)	959,099,940	13,341,150	18,248,360	7,933,640
25:泌尿生殖器官及び肛門用薬	155,878,980	24,636,520	47,345,700	17,906,270
26:外皮用薬	184,855,360	107,970,810	443,568,720	218,166,290
27:歯科口腔用薬	895,090	400	0	0
29:その他の個々の器官系用医薬品	2,741,370	47,320	265,070	118,510
31:ビタミン剤	75,871,750	76,544,060	32,135,980	18,840,900
32:滋養強壮薬	101,694,530	8,324,630	6,463,410	4,505,740
33:血液・体液用薬	359,688,990	186,943,070	459,564,110	153,285,960
34:人工透析用薬	6,239,260	237,240	7,326,800	5,932,110
39:その他の代謝性医薬品	1,559,331,090	220,520,380	484,334,980	263,496,120
41:細胞賦活用薬	56,070	0	0	0
42:腫瘍用薬	618,577,840	64,988,300	180,531,020	84,077,380
44:アレルギー用薬	912,390,960	342,919,480	597,641,830	268,216,170
51:生薬	12,263,440	0	0	0
52:漢方製剤	478,897,370	0	0	0
59:その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品	19,788,080	0	0	0
61:抗生物質製剤	116,770,430	145,583,890	375,272,470	200,413,870
62:化学療法剤	839,026,680	103,397,340	170,539,630	82,127,230
63:生物学的製剤	173,369,940	0	0	0
64:寄生動物用薬	812,540	35,850	825,180	448,620
71:調剤用薬	7,810,550	2,930	0	0
72:診断用薬(対外診断用医薬品を除く。)	459,670	10,930	0	0
73:公衆衛生用薬	30	0	200	200
74:体外診断用医薬品	0	0	0	0
79:その他の治療を主目的としない医薬品	34,197,930	41,830	172,790	87,400
81:アルカロイド系麻薬	26,311,800	1,205,350	0	0
82:非アルカロイド系麻薬	12,161,640	509,160	5,080,610	3,525,920

「薬剤料」は、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出したものであり、剤報酬明細書の薬剤料欄に記録された「薬剤点数」に10を乗じた「薬剤料」の合計と一致しない。